

S-01 シンポジウム01

配信 En

5月31日(水) 9:50 ~ 11:50

第03会場(幕張メッセ国際会議場 2F 201)

The current update of restless legs syndrome;
from mechanisms to treatment

Chairs : Yuichi Inoue

Department of Somnology, Tokyo Medical University, Japan

Naoko Tachibana

Center for Sleep-related Disorders, Kansai Electric Power Hospital, Japan

S-01-1 Development and Importance for the Animal model of Restless Legs Syndrome

Kazuhiro Muramatsu

Pediatrics and Center for Gene Therapy Research, Jichi Medical University, Japan

S-01-2 Working memory deficits in patients with restless legs syndrome

Ki-young Jung

Department of Neurology, Seoul National University College of Medicine, Korea

S-01-3 Seasonal Exacerbation of Subjective Symptoms in Patients with Restless Legs Syndrome

Kentarō Matsui

Department of Clinical Laboratory, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Japan

S-01-4 Treatment strategy for long-term management of patients with restless legs syndrome

Naoko Tachibana

Center for Sleep-related Disorders, Kansai Electric Power Hospital, Japan / Division of Sleep Medicine, Kansai Electric Power Medical Research Institute, Japan

S-01-5 Difference in background factors between treatment responders to gabapentin enacarbil and placebo

Yuichi Inoue

Department of Somnology, Tokyo Medical University, Japan / Yoyogi Sleep Disorder Center, Japan

S-02 シンポジウム02

Jp

5月31日(水) 9:50 ~ 11:50

第05会場(幕張メッセ国際会議場 3F 304)

非侵襲的神経刺激を用いたリハビリテーション医療における知と実践

座長：和田 直樹 群馬大学大学院医学系研究科リハビリテーション医学

山中 義崇 千葉大学病院浦安リハビリテーション教育センター

S-02-1 tDCSとrTMSの共通点と相違点：最適な刺激を目指して

服部 憲明 富山大学学術研究部医学系リハビリテーション科

S-02-2 Parkinson症候群の体軸症状と非運動症状に対する非侵襲脳刺激法

眞野 智生 奈良県総合医療センター リハビリテーション科

S-02-3 脊髄刺激：歩行障害に対する経皮的脊髄電気刺激システム

藤原 俊之 順天堂大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学

S-02-4 patterned rTMS : Quadripulse stimulationとTheta burst stimulationの臨床応用
川上 途行 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

後援：日本リハビリテーション医学会

S-03 シンポジウム03

配信 En

5月31日(水) 9:50 ~ 11:50

第06会場(幕張メッセ国際会議場 3F 302)

Overview of autoimmune peripheral neuropathies

Chairs : Norito Kokubun

Department of Neurology, Dokkyo Medical University, Japan

Ryo Yamasaki

Department of Neurology, Neurological Institute, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Japan

S-03-1 Overview of Guillain-Barré syndrome (GBS)

Nortina Shahrizaila

University of Malaya, Malaysia

S-03-2 CIDP overview

Yu-ichi Noto

Department of Neurology, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan

S-03-3 Treatment selection according to the pathophysiology of autoimmune nodopathy

Ryo Yamasaki

Department of Neurology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Japan

S-03-4 Vasculitic neuropathy: An overview

Ryota Sato

Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan

S-03-5 POEMS syndrome overview

Tomoki Suichi

Department of Neurology, Graduate School of Medicine, Chiba University, Japan

S-04 シンポジウム04

Jp

5月31日(水) 9:50 ~ 11:50

第07会場(幕張メッセ国際会議場 3F 303)

これからの若手育成について語ろう

座長：生坂 政臣 千葉大学医学部附属病院総合診療科

三澤 園子 千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学

S-04-1 若手の育成：総合診療領域からのメッセージ

生坂 政臣 千葉大学病院 総合診療科

S-04-2 大学病院産業医から見た「教育」と「ハラスメント」の境界線

吉村 健佑 千葉大学病院次世代医療構想センター

- S-04-3 働き方改革の下での若手育成
関口 縁 JR東京総合病院 脳神経内科
- S-04-4 若手をバーンアウトから守るための戦略
小川 崇 順天堂大学医学部附属 順天堂医院 脳神経内科

S-05 シンポジウム05

公募 Jp

5月31日(水) 9:50 ~ 11:50

第11会場(東京ベイ幕張ホール 2F No. 3, 4)

脳神経内科における法律, 訴訟, 法的問題

座長: 大平 雅之 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部
石浦 浩之 岡山大学脳神経内科

S-05-1 脳神経内科における法律, 訴訟, 法的問題-Overview

山脇 健盛 広島はくしま病院 脳神経内科

S-05-2 神経難病の終末期医療における法的問題

荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター・神経内科/国際医療福祉大学市川
病院 脳神経内科・神経難病センター

S-05-3 法律からみた認知症診療—医師が知っておきたい法律の知識—

川畑 信也 八千代病院 愛知県認知症疾患医療センター

S-05-4 裁判からみた脳神経内科のcommon disease—脳梗塞と頭痛を中心に—

墨岡 亮 仁邦法律事務所

S-05-5 裁判からみた脳神経内科病棟における院内事故—転倒と抑制を中心に—

大平 雅之 国立精神・神経医療研究センター 臨床検査部/仁邦法律事務所

S-06 シンポジウム06

Jp

5月31日(水) 9:50 ~ 11:50

第12会場(東京ベイ幕張ホール 2F No. 5, 6)

ALSの早期診断・早期介入をいかにやるか

座長: 清水 俊夫 東京都立神経病院脳神経内科
熱田 直樹 愛知医科大学医学部内科学講座(神経内科)

S-06-1 筋萎縮性側索硬化症の早期診断: 症候学のおよび電気生理学的診断

清水 俊夫 東京都立神経病院 脳神経内科

S-06-2 ALSの早期診断: 上位運動ニューロン症候と診断基準

澁谷 和幹 千葉大学病院 脳神経内科

S-06-3 ALSの早期診断: 遺伝子診断

中村 亮一 愛知医科大学神経内科

S-06-4 ALSの早期診断: 筋からのアプローチ

倉重 毅志 呉医療センター 脳神経内科

S-06-5 ALSの早期介入: 栄養・代謝の観点から

中村 竜太郎 滋賀医科大学病院 脳神経内科

S-06-6 ALSの早期介入：リハビリテーションの観点から
森田 光哉 自治医科大学附属病院 リハビリテーションセンター

S-07 シンポジウム07

配信 En

5月31日(水) 13:20～15:20

第03会場(幕張メッセ国際会議場 2F 201)

Pathogenesis of Parkinson's Disease

Chairs : Hideki Mochizuki

Department of Neurology, Osaka University, Japan

Ritsuko Hanajima

Division of Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine, Tottori University, Japan

S-07-1 Alpha-synuclein aggregates polymorphism and the molecular basis of diverse synucleinopathies

Ronald Melki

CEA-CNRS-University Paris Saclay, France

S-07-2 Parkinson Disease Pathogenesis and Disease Modification

Ted M. Dawson

Johns Hopkins University School of Medicine, USA

S-07-3 LRRK2, alpha-synuclein and lysosomal dysfunction in Parkinson's disease

Takeshi Iwatsubo

Department of Neuropathology, The University of Tokyo, Japan

S-07-4 An update of the prion-like propagation hypothesis in Parkinson's disease

Yasuyoshi Kimura

Department of Neurology, Osaka University Graduate School of Medicine, Japan

S-08 シンポジウム08

Jp

5月31日(水) 13:20～15:20

第04会場(幕張メッセ国際会議場 3F 301)

MGガイドライン発刊から1年～どうする治療の使い分け!?

座長：鈴木 重明 慶應義塾大学医学部神経内科

鵜沢 顕之 千葉大学医学部附属病院脳神経内科

S-08-1 どうする使い分け!?～経口ステロイド vs. ステロイドパルス

小澤由希子 成田赤十字病院 脳神経内科/千葉大学医学部附属病院 脳神経内科

S-08-2 どうする使い分け!?～タクロリムス vs. シクロスポリン

西田陽一郎 東京医科歯科大学病院 脳神経病態学分野(脳神経内科)

S-08-3 どうする使い分け!?～免疫グロブリン静注療法 vs. 血漿浄化療法

杉本 太路 広島大学病院 脳神経内科

S-08-4 どうする使い分け!?～補体C5阻害薬 vs. 胎児性Fc受容体(FcRn)阻害薬

長根百合子 総合花巻病院 脳神経内科

- S-08-5 どうする使い分け!?～重症筋無力症に対する胸腺摘出術の現況
奥村明之進 国立病院機構大阪刀根山医療センター

S-09 シンポジウム09

Jp

5月31日(水) 13:20～15:20

第05会場(幕張メッセ国際会議場 3F 304)

AI支援で拡がる脳卒中診療の現状と展望

座長：卜部 貴夫 順天堂大学医学部附属浦安病院脳神経内科
豊田 一則 国立研究開発法人国立循環器病研究センター

- S-09-1 AIによる出血性脳卒中の診断
井上 学 国立循環器病研究センター 脳卒中集中治療科
- S-09-2 AIによる虚血性脳卒中の診断
柴田宗一郎 聖マリアンナ医科大学病院 脳神経内科
- S-09-3 AIによる脳卒中後認知症予測への展望
石井 賢二 東京都健康長寿医療センター研究所 神経画像研究チーム
- S-09-4 AIによる動脈硬化の評価
上野 祐司 山梨大学大学院 内科学講座神経内科教室
- S-09-5 AIによる脳卒中患者転帰の予測
吉村 壮平 国立循環器病研究センター 脳血管内科

S-10 シンポジウム10

Jp

5月31日(水) 13:20～15:20

第07会場(幕張メッセ国際会議場 3F 303)

拡がる遺伝性白質疾患の最前線

座長：熊田 聡子 東京都立神経病院神経小児科
高梨 潤一 東京女子医科大学八千代医療センター小児科

- S-10-1 遺伝子解析による大脳白質形成不全症発症メカニズムの解明
才津 浩智 浜松医科大学 医化学講座
- S-10-2 MRI, MR spectroscopyで診る遺伝性白質疾患
高梨 潤一 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科
- S-10-3 遺伝性白質疾患；広がる臨床像、治療の最前線
小坂 仁 自治医科大学病院 小児科学講座
- S-10-4 成人での白質異常へのアプローチ
小野寺 理 新潟大学脳研究所 神経内科

S-11 シンポジウム11**Jp**

5月31日(水) 13:20～15:20

第11会場(東京ベイ幕張ホール 2F No. 3, 4)

筋電図・神経筋超音波とAI診断の最前線

座長：今井 富裕 国立病院機構箱根病院
 関口 兼司 神戸大学大学院医学研究科脳神経内科

S-11-1 神経筋超音波検査のAI診断

下園 恒明 天理よろづ相談所病院 脳神経内科

S-11-2 筋エコー指標の定量による神経疾患の診断への寄与

北大路隆正 京都府立医科大学大学院医学研究科 脳神経内科学

S-11-3 機械学習を用いたリアルタイム筋超音波定量解析プログラムの開発

野田 佳克 神戸大学大学院医学研究科内科学講座脳神経内科学分野/中田医院

S-11-4 どこまで追うべき!? 神経超音波によるuncommon nerveの描出の有用性

山崎 博輝 徳島大学病院 脳神経内科

S-12 シンポジウム12**公募 Jp**

5月31日(水) 13:20～15:20

第14会場(東京ベイ幕張ホール 2F No. 9,10)

腸内細菌叢研究がもたらす中枢神経疾患医療の変革：現在の到達点

座長：山村 隆 国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部
 大野 欽司 名古屋大学大学院医学系研究科神経遺伝情報学

S-12-1 多発性硬化症と腸内細菌叢

山村 隆 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所免疫研究部

S-12-2 認知症と腸内細菌叢

佐治 直樹 国立長寿医療研究センター ものわすれセンター

S-12-3 パーキンソン病と腸内細菌叢

大野 欽司 名古屋大学大学院医学系研究科 神経遺伝情報学

S-12-4 気分障害と腸内細菌叢

功刀 浩 帝京大学医学部精神神経科学/国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第三部

S-12-5 ストレス関連疾患と腸内細菌叢

須藤 信行 九州大学大学院医学研究院心身医学

S-13 シンポジウム13**公募 配信 Jp**

6月1日(木) 8:30～9:30

第01会場(幕張メッセ国際会議場 2F コンベンションホール)

脳卒中克服第二次5カ年計画の課題と展望

座長：橋本洋一郎 済生会熊本病院脳卒中センター
 竹川 英宏 獨協医科大学脳卒中センター

S-13-1 「人材育成」

板橋 亮 岩手医科大学内科学講座脳神経内科・老年科分野

31
日
1
日シン
ポ
ジ
ウ
ム

- S-13-2 医療体制の充実
藤本 茂 自治医科大学内科学講座神経内科学部門
- S-13-3 脳卒中登録事業の促進
古賀 政利 国立循環器病研究センター 脳血管内科
- S-13-4 予防・国民への啓発
井口 保之 東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科
- S-13-5 臨床・基礎研究の強化
平野 照之 杏林大学医学部 脳卒中医学

S-14 シンポジウム14

配信 Jp

6月1日(木) 8:00～9:30

第03会場(幕張メッセ国際会議場 2F 301)

注目されているアルツハイマー病の新たな病態研究

座長：池内 健 新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター
小野賢二郎 金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学

- S-14-1 アルツハイマー病におけるグリア病変の新展開
富田 泰輔 東京大学大学院 薬学系研究科
- S-14-2 ゲノム編集技術とアルツハイマー病研究最前線
笹栗 弘貴 理化学研究所脳神経科学研究センター
- S-14-3 コホート研究から見てきた新たな認知症病態：石川健康長寿プロジェクト
篠原もえ子 金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科
- S-14-4 核酸研究から見てきた新たなAD病態：核酸アプタマー医薬の創製と応用
村上 一馬 京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻

S-15 シンポジウム15

Jp

6月1日(木) 8:00～9:30

第04会場(幕張メッセ国際会議場 3F 301)

脳神経内科領域でのAIの未来：基礎研究から臨床応用まで

座長：野寺 裕之 天理よろづ相談所病院脳神経内科
高村 真広 島根大学医学部附属病院脳神経内科

- S-15-1 AIを用いた認知症予知システム構築にむけた取組み
高村 真広 島根大学医学部附属病院 脳神経内科/広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター
- S-15-2 音声情報処理の最先端から見える未来
戸田 智基 名古屋大学 情報基盤センター
- S-15-3 AI支援型BMI技術を活用した神経リハビリテーション
牛場 潤一 慶應義塾大学理工学部生命情報学科
- S-15-4 神経伝導・筋電図検査での自動判別システムの開発
野寺 裕之 天理よろづ相談所病院 脳神経内科

S-16 シンポジウム16**公募 Jp**

6月1日(木) 8:00~9:30

第07会場(幕張メッセ国際会議場 3F 303)

在宅医療における脳神経内科医と専門職・多職種とのオンライン連携

座長：野崎 園子 関西労災病院 脳神経内科
 土居 充 国立病院機構鳥取医療センター脳神経内科

S-16-1 オンラインリハビリテーション診療の多様性と可能性

野崎 園子 関西労災病院 脳神経内科

S-16-2 訪問リハビリテーションにおける医師とのオンライン連携

平山 哲也 リライトリハビリ訪問看護ステーション(理学療法士)

S-16-3 通所・訪問スタッフの食のケアにおけるオンライン連携のニーズ

西 依見子 Taste & see

S-16-4 オンライン言語リハビリテーション

大塚佳代子 (株)くるみの森(言語聴覚士)

S-16-5 パーキンソン病センターにおけるオンライン栄養管理

土居 充 鳥取医療センター 脳神経内科

S-17 シンポジウム17**公募 Jp**

6月1日(木) 8:00~9:30

第11会場(東京ベイ幕張ホール 2F No. 3, 4)

脳小血管ワールド 脳小血管保護による攻めの脳神経内科へ

座長：水野 敏樹 京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学
 小野寺 理 新潟大学脳研究所臨床神経学部門 神経内科学分野

S-17-1 本日のトピック

小野寺 理 新潟大学脳研究所 神経内科

S-17-2 日本の脳小血管病の歴史：Binswanger型脳症からHTRA1病まで

福武 敏夫 亀田メディカルセンター脳神経内科

S-17-3 1型脳小血管病：次に進むべき時はきた！

薬師寺祐介 関西医科大学病院 神経内科学講座

S-17-4 脳アミロイド血管症

植田 明彦 熊本大学病院 脳神経内科

S-17-5 HTRA1遺伝子異常による脳小血管病

上村 昌寛 新潟大学脳研究所 脳神経内科

S-17-6 病理からみた脳小血管病

齋藤 理恵 新潟大学脳研究所脳疾患標本資源解析学分野

S-18 シンポジウム18**公募 Jp**

6月1日(木) 8:00~9:30

第13会場(東京ベイ幕張ホール 2F No. 7, 8)

神経系疾患の小児-成人移行医療：現在地と課題

座長：望月 葉子 東京都立北療育医療センター内科・脳神経内科
尾方 克久 国立病院機構東埼玉病院 神経内科/臨床研究部

S-18-1 てんかんにおける小児-成人移行医療：現状と課題

池田 昭夫 京都大学病院 てんかん・運動異常生理学講座

S-18-2 運動障害疾患における小児-成人移行医療

長谷川一子 国立病院機構 相模原病院 脳神経内科

S-18-3 千葉県における神経疾患の実態調査を踏まえた移行期医療支援推進の提言

日野もえ子 千葉大学医学部附属病院 小児科・移行医療支援センター

S-18-4 小児-成人移行医療の現状と課題：神経学会会員アンケートから

齊藤 利雄 国立病院機構大阪刀根山医療センター 神経内科・小児神経内科/日本神経学会小児-成人移行医療対策特別委員会

後援：日本小児神経学会

S-19 シンポジウム19**Jp**

6月1日(木) 8:00~9:30

第14会場(東京ベイ幕張ホール 2F No. 9,10)

脳神経内科医による頸椎症診療

座長：安藤 哲朗 亀田総合病院脳神経内科
松浦 英治 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学講座 脳神経内科・老年病学

S-19-1 脳神経内科医が頸椎症を診療すべき理由

安藤 哲朗 亀田メディカルセンター 脳神経内科

S-19-2 頸椎症の鑑別診断

亀山 隆 中部ろうさい病院 脳神経内科

S-19-3 頸椎症診療における電気生理学的検査の有用性

神林 隆道 帝京大学病院 脳神経内科

S-19-4 整形外科医が頸椎症診療で脳神経内科に望むこと

松山 幸弘 浜松医科大学整形外科

Road to new treatments for autoimmune peripheral neuropathy

Chairs : Kenichi Kaida

Dept. of Neurology, Saitama Medical Center, Saitama Medical University,
Japan

Masahiro Iijima

Pfizer Japan Inc., Japan

S-20-1 POEMS syndrome and thalidomide

Sonoko Misawa

Department of Neurology, Chiba University graduate School of Medicine, Japan

S-20-2 CIDP and rituximab

Masahiro Iijima

Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Japan

S-20-3 Anti-MAG neuropathy and specific adsorbents against HNK-1 epitopes

Masanori Nakajima

Department of Neurology, Kyorin University School of Medicine, Japan

S-20-4 Clinical development of Efgartigimod and ARGX-117 for Treatment of Neurological Diseases

Peter Ulrichs

Chief Scientific Officer, argenx BV, Belgium

脳エネルギー代謝とアストロサイトから迫る精神疾患と神経変性疾患の共通病態メカニズム

座長：渡辺 宏久 藤田医科大学医学部脳神経内科学

高堂 裕平 量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所脳機能イメージング
研究部

S-21-1 脳画像およびバイオマーカーから見たエネルギー代謝障害と神経変性疾患の関係

渡辺 宏久 藤田医科大学病院 脳神経内科

S-21-2 精神・神経疾患モデルマウスにおけるグルコース代謝異常

平井 志伸 東京都医学総合研究所・精神行動医学研究分野・フロンティア研究室・脳代謝制御
グループ

S-21-3 認知症とアストロサイト機能不全：脳エネルギー代謝イメージングによる検討

高堂 裕平 量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所

S-21-4 アストロサイトGPCRシグナルを標的とした神経変性疾患治療の可能性

長井 淳 理化学研究所 脳神経科学研究センター グリア-神経回路動態研究チーム

Seeing is believing: journey to identify culprit in ALS

Chairs : Koji Yamanaka

Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University, Japan

Masahisa Katsuno

Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine,
Japan

S-22-1 Autoregulation of TDP-43

Akihiro Sugai

Department of Molecular Neuroscience, Brain Research Institute, Niigata University, Japan

S-22-2 Using patient derived data and modeling to guide ALS drug development

Neta Zach Hidenori Kamiguchi, Akiyoshi Kunugi

Takeda Pharmaceutical Company Limited, USA

S-22-3 Molecular basis underlying TDP-43 pathology in ALS

Koji Yamanaka

Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University, Japan

S-22-4 Unveiling a novel role of phosphorylation of TDP

Yohei Iguchi

Department of Neurology, Japan

S-22-5 The expression of STMN2 is associated with the TARDBP exon
一般演題から採用 splicing in TDP-43 proteinopathy

Takuma Yamagishi

Department of Neurology, Brain Research, Institute, Niigata University, Japan

COVID-19罹患後症状・Long COVIDにおける神経症状：
脳神経内科医の課題と対策

座長：中嶋 秀人 日本大学医学部内科学系神経内科学分野

雪竹 基弘 医療法人社団高邦会高木病院脳神経内科

S-23-1 COVID-19: Up to date

大曲 貴夫 国立国際医療研究センター 国際感染症センター

S-23-2 Long COVIDの神経症状・頻度・リスク

中嶋 秀人 日本大学板橋病院 内科学系神経内科学分野

S-23-3 Long COVIDの診断と診療現場

水澤 英洋 国立精神・神経医療研究センター

S-23-4 Long COVIDの病態

下畑 享良 岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野

S-23-5 筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群とLong COVIDの共通する病態機序

佐藤和貴郎 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 免疫研究部

S-23-6 予防法・治療法と今後の課題

植田 晃広 藤田医科大学 岡崎医療センター 内科学 脳神経内科/藤田医科大学医学部 脳神経内科学

S-24 シンポジウム24**Jp**

6月1日(木) 15:35～17:35

第11会場(東京ベイ幕張ホール 2F No. 3, 4)

治せるジストニア!～最近の進歩座長:長谷川一子 国立病院機構相模原病院脳神経内科・臨床研究センター神経難病研究室
宮本 亮介 徳島大学医学部脳神経内科**S-24-1** 遺伝性ジストニアの最近の進歩とボツリヌス治療

宮本 亮介 徳島大学病院 脳神経内科

S-24-2 髄腔内バクロフェン投与療法:ITBはどこまで有効か?

三島 大徳 国立病院機構相模原病院 脳神経外科

S-24-3 ジストニアに対する定位脳手術-最近の進歩とこれからの課題-

牟礼 英生 倉敷平成病院 ニューロモデュレーションセンター/倉敷平成病院 脳神経外科

S-24-4 音楽家の局所性ジストニアの病態生理学

古屋 晋一 ソニーコンピューターサイエンス研究所

S-25 シンポジウム25**Jp**

6月1日(木) 15:35～17:35

第13会場(東京ベイ幕張ホール 2F No. 7, 8)

自己免疫性筋炎 - どこまで分かったのか?座長:西野 一三 国立精神・神経医療研究センター神経研究所 疾病研究第一部
松村 剛 独立行政法人国立病院機構大阪刀根山医療センター脳神経内科**S-25-1** 封入体筋炎はどこまで分かったのか?

漆葉 章典 東京都立神経病院 脳神経内科

S-25-2 免疫介在性壊死性ミオパチーはどこまで分かったのか?

久保田 暁 東京大学病院 神経内科

S-25-3 皮膚筋炎の病態は自己抗体ごとに異なるのか?

沖山奈緒子 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学

S-25-4 抗合成酵素症候群はどこまで分かったのか?他にも独立した亜型は存在するのか?

鈴木 重明 慶應義塾大学病院 神経内科

S-25-5 筋炎における筋線維の死はネクローシスなのか?

神谷 麻理 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 膠原病・リウマチ内科

S-26 シンポジウム26**配信 Jp**

6月2日(金) 8:00~9:30

第01会場(幕張メッセ国際会議場 2F コンベンションホール)

神経遺伝学がひらくリピート病の新展開

座長: 中森 雅之 山口大学大学院医学系研究科臨床神経学
 佐竹 渉 東京大学大学院医学系研究科神経内科

S-26-1 CANVASにおけるリピート配列の多様性

宮武 聡子 横浜市立大学附属病院 遺伝子診療科

S-26-2 ハンチントン病/DRPLAのリピート短縮治療

中森 雅之 山口大学大学院 医学系研究科 臨床神経学

S-26-3 C9orf72-FTD/ALSにおけるRAN翻訳の制御

森 康治 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学

S-26-4 SCA31の病態解明と治療開発

石川 欽也 東京医科歯科大学病院 長寿・健康人生推進センター/東京医科歯科大学大学院ゲノム健康医療学分野/東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野

S-27 シンポジウム27**配信 Jp**

6月2日(金) 8:00~9:30

第03会場(幕張メッセ国際会議場 2F 201)

医療と患者を直接結び:最新のtelemedicineが作る未来

座長: 長井 篤 島根大学医学部内科学第三
 大山 彦光 順天堂大学脳神経内科

S-27-1 Teleneurology(遠隔脳神経内科)の現状と展望

長谷川泰弘 新百合ヶ丘総合病院 脳卒中センター

S-27-2 双方向性3次元オンライン診療システムの現状と未来

大山 彦光 順天堂大学医学部 脳神経内科

S-27-3 アカデミック眼科医による医療AI企業の設立

高橋 秀徳 自治医科大学眼科学

S-27-4 脳波を活用した非侵襲BMI

吉村奈津江 東京工業大学 情報理工学院/ATR 脳情報通信総合研究所

S-28 シンポジウム28**公募 Jp**

6月2日(金) 8:00~9:30

第04会場(幕張メッセ国際会議場 3F 301)

神経希少疾患に対する核酸医薬による個別化医療の展望

座長: 水澤 英洋 国立精神・神経医療研究センター
 中山 東城 ポスト小児病院

S-28-1 核酸医薬による神経疾患に対する個別化医療の取り組みと展望

中山 東城 ハーバード医科大学ポスト小児病院/東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経内科

S-28-2 未診断疾患イニシアチブ(IRUD)の成果と治療法開発への展望

高橋 祐二 国立精神・神経医療研究センター 脳神経内科

S-28-3 希少疾患に対する核酸医薬品適用のための非臨床安全性評価における課題と展望
平林 容子 国立医薬品食品衛生研究所

S-28-4 希少疾病超個別化医療の可能性
～産業界から見たN-of-One医薬品創出への課題～
梶井 靖 武田薬品工業株式会社T-CiRA ディスカバリーアンドイノベーション

S-29 シンポジウム29

配信 En

6月2日(金) 8:00～9:30

第06会場(幕張メッセ国際会議場 3F 302)

Women in Neurology in the USA and Japan

Chairs : Vanda A. Lennon
Department of Neurology, Mayo Clinic, USA
Izumi Kawachi
Dept of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University, Japan

S-29-1 A woman's journey in translational neuroscience in Australia and North America

Vanda A. Lennon
Department of Neurology, Mayo Clinic, USA

S-29-2 Female neurologists in Japan as the first baby-boomer generation

Keiko Tanaka
Dept. Animal Model Development, Brain Research Institute, Niigata University, Japan / Dept.
Multiple Sclerosis Therapeutics, Fukushima Medical University, School of Medicine, Japan

S-29-3 Women in Neurology in Japan since 1990s

Ritsuko Hanajima
Division of Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine, Tottori
University, Japan

S-29-4 Women in Neurology in Japan in future

Yukiko Hayashi
Department of Pathophysiology, Tokyo Medical University, Japan

後援：日本内科学会

S-30 シンポジウム30

公募 配信 En

6月2日(金) 13:45～15:45

第03会場(幕張メッセ国際会議場 2F 201)

The Dawn of A New Era - Therapy for GNE Myopathy

Chairs : Madoka Mori-yoshimura
Department of Neurology, National Center Hospital, National, National Center
of Neurology and Psychiatry, Japan
Naoki Suzuki
Department of Neurology, Tohoku University Hospital, Japan

S-30-1 Distal myopathy - an overview

Ichizo Nishino
Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of
Neurology and Psychiatry, Japan

S-30-2 Clinical characteristics and differential diagnosis of GNE myopathy

Madoka Mori-yoshimura

Department of Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Japan

S-30-3 Clinical trials of GNE myopathy in Japan

Naoki Suzuki

Department of Neurology, Tohoku University Hospital, Japan

S-30-4 N-acetylmannosamine (ManNAc) in GNE myopathy: clinical trials and future prospects

May Christine V. Malicdan

National Institute of Health Undiagnosed Diseases Program, USA / Medical Genetics Branch, National Human Genome Research Institute, USA

S-30-5 Mutation profile of GNE Gene in Chinese cohort with GNE Myopathy: an update

Wen-hua Zhu

Department of Neurology, Huashan Hospital Fudan University, China / National Center for Neurological Disorders (NCND), China / Huashan Rare Disease Center, Shanghai Medical College, Fudan University, China

S-30-6 Therapy development for GNE myopathy beyond oral sialic acid supplementation

Wakako Yoshioka

National Center of Neurology and Psychiatry (NCNP), Japan

後援：日本筋学会

S-31 シンポジウム31

配信 En

6月2日(金) 13:45 ~ 15:45

第06会場(幕張メッセ国際会議場 3F 302)

Lessons Learned from Imaging on Clinical Issues in Parkinson's Disease and related disorders

Chairs : Yasuomi Ouchi

Hamamatsu University School of Medicine, Department of Biofunctional Imaging, Japan

Hitoshi Shimada

Department of Functional Neurology & Neurosurgery, Center for Integrated Human Brain Science, Brain Research Institute, Niigata University, Japan

S-31-1 Clinical issues in Parkinson's Disease and Related disorders

Francisco Cardoso

The Federal University of Minas Gerais, Brazil

S-31-2 Challenges and Future Prospects for Diagnostic Imaging and Biomarker of PD and Atypical Parkinsonism

Taku Hatano

Department of Neurology, Juntendo University Faculty of Medicine, Japan

S-31-3 Gait-combined closed-loop brain stimulation can improve walking dynamics in Parkinson's disease

Yoshino Ueki

Department of Rehabilitation medicine, Nagoya City University Graduate School of Medicine, Japan

S-31-4 Pathophysiological Imaging of PD and APS
-Toward Realization of Disease-Modifying Therapies-

Hitoshi Shimada

Department of Functional Neurology & Neurosurgery, Center for Integrated Human Brain Science, Brain Research Institute, Niigata University, Japan / Department of Functional Brain Imaging, Institute for Quantum Medical Science, Institutes for Quantum and Radiological Science and Technology, Japan / Department of Neurology, Chiba University, Japan

後援：日本パーキンソン病・運動障害疾患学会 (MDSJ)

S-32 シンポジウム32

公募 配信 En

6月3日(土) 8:00~10:00

第02会場(幕張メッセ国際会議場 2F 国際会議室)

Functional neurological disorders: updates and the role of neurologists

Chairs : Jon Stone

The University of Edinburgh, UK

Masahiro Sonoo

Department of Neurology, Teikyo University School of Medicine, Japan

S-32-1 Functional weakness

Masahiro Sonoo

Department of Neurology, Teikyo University School of Medicine, Japan

S-32-2 Functional Movement disorders: The Role of Neurologists

Masahiko Tomiyama

Department of Neurology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Japan

S-32-3 Functional Neurological Disorder (FND)

- an overview and "the assessment as treatment"

Jon Stone

University of Edinburgh, UK

S-33 シンポジウム33

Jp

6月3日(土) 8:00~10:00

第04会場(幕張メッセ国際会議場 3F 301)

脳神経内科の開発最前線、規制当局やAROとのコラボレーションを考えて進める開発

座長：青木 正志 東北大学大学院医学系研究科神経内科学

中村 治雅 国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門 臨床研

森豊 隆志 突支援部 東京大学医学部附属病院 臨床研究推進センター

S-33-1 医薬品等開発のための公的支援策について

正村 優子 厚生労働省

S-33-2 昨今の脳神経内科領域の新医薬品の動向

上村 昌寛 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 新薬審査第二部

S-33-3 AROとは何か、AROが支えるアカデミアの研究開発

森豊 隆志 東京大学医学部附属病院 臨床研究推進センター

S-33-4 ~~開発の実例を踏まえてビルテプソの承認までの道のり~~ 取下げ演題~~中村 治雅 国立精神・神経医療研究センター 臨床研究支援部~~

S-33-5 脳神経内科領域の臨床開発研究におけるアカデミアへの期待

- 製薬企業の立場から

藤本 陽子 ファイザー株式会社

S-34 シンポジウム34

公募 Jp

6月3日(土) 8:00~10:00

第05会場(幕張メッセ国際会議場 3F 304)

若手研究者必見! 他学会から学ぶ研究トピックスと新しい潮流

座長: 村山 繁雄 大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どもの心の分子統御機構研究センター
ブレインバンク・バイオリソース部門

高橋 良輔 京都大学医学部附属病院脳神経内科

S-34-1 ホットトピックスー神経病理学会

村山 繁雄 大阪大学 小児発達学研究所/東京都健康長寿医療センター

S-34-2 iPS細胞技術を用いた神経疾患の病態解析と創薬研究

岡野 栄之 慶應義塾大学医学部生理学教室

S-34-3 基礎神経科学研究のすゝめーゲームチェンジを目指して

柚崎 通介 慶應義塾大学医学部生理学

S-34-4 今熱いトピックス: 日本生物学的精神医学会

加藤 忠史 順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学

後援: 日本神経病理学会/日本神経化学会/日本神経科学学会/日本生物学的神経医学会

S-35 シンポジウム35

公募 Jp

6月3日(土) 8:00~10:00

第07会場(幕張メッセ国際会議場 3F 303)

瀬川病の病態解明と未来への提言 ~瀬川病発見50年を迎えて~

座長: 寺尾 安生 杏林大学医学部 病態生理学教室

星野 恭子 瀬川記念小児神経学クリニック小児科

S-35-1 瀬川先生の診療録から瀬川病成立の初期過程を読み解く

久保田雅也 島田療育センター 小児科

S-35-2 衝動性眼球運動の解析より瀬川病の病態を考える

寺尾 安生 杏林大学病院 病態生理学教室

S-35-3 プレリジン代謝改変マウスによる瀬川病発症機構の考察

一瀬 宏 東京工業大学 生命理工学院

S-35-4 瀬川病の臨床多様性の検討 —全国調査の結果より—

星野 恭子 瀬川記念小児神経学クリニック

S-36 シンポジウム36**Jp**

6月3日(土) 8:00~10:00

第11会場(東京ベイ幕張ホール 2F No. 3, 4)

治療につながるニューロパチーの鑑別診断

座長: 小池 春樹 佐賀大学医学部内科学講座 脳神経内科
能登 祐一 京都府立医科大学大学院医学研究科 脳神経内科学

S-36-1 電気生理学からみたニューロパチーの鑑別診断

中村 友彦 浜松医科大学医学部附属病院 脳神経内科

S-36-2 病理学からみたニューロパチーの鑑別診断

佐藤 亮太 山口大学大学院医学系研究科臨床神経学

S-36-3 日常診療で遭遇する機会の多い薬剤・代謝・栄養性ニューロパチー

小池 春樹 佐賀大学医学部内科学講座 脳神経内科

S-36-4 遺伝性ニューロパチーにおける早期治療の診断の必要性と最新の治療

関島 良樹 信州大学病院 脳神経内科, リウマチ・膠原病内科

S-37 シンポジウム37**公募 Jp**

6月3日(土) 8:30~10:00

第13会場(東京ベイ幕張ホール 2F No. 7, 8)

脳卒中遠隔医療の夜明け

座長: 長谷川泰弘 新百合ヶ丘総合病院脳卒中センター
藤本 茂 自治医科大学内科学講座神経内科学部門

S-37-1 僻地・離島における脳卒中診療に係る医療資源の現状と課題

益子 貴史 自治医科大学内科学講座神経内科学部門

S-37-2 長崎における脳卒中遠隔医療

辻野 彰 長崎大学病院 脳神経内科

S-37-3 栃木県における脳卒中遠隔医療

竹川 英宏 獨協医科大学 脳卒中センター

S-37-4 当院における遠隔情報共有を用いた脳卒中診療の取り組み

坂井健一郎 東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科

S-37-5 遠隔医療ガイドライン

橋本洋一郎 済生会熊本病院 脳卒中センター

3
日シン
ポ
ジ
ウ
ム